

2019年11月20日(水)

豊川サッカー協会

4種加盟チーム代表者各位



豊川サッカー協会

豊川市伊奈町南山新田189-9

電話：0533-56-9120

理事長 孫 勇一

<https://www.toyokawa-fa.jp/>



－ J C カップ 予選会 に関して －

2020年度以降のJ Cカップの大会参加および予選会の開催に関して、豊川サッカー協会としては以下の理由により関与しないこととします。ご理解を頂けましたら幸いです。ただし、大会参加の告知に関してのみ加盟チーム様にはご案内させて頂き、大会参加希望のチームがいれば、別途協議等して頂き各々ご参加いただくこととなります。

【関与しない理由】

① J C カップ 出場を決める予選会を開催することは会場確保も予算確保も不可能。

② 2019年度の大会参加に関して以下の問題が発生しました。

- ・ 東三河予選会の試合日程等の時間割り当てに無理があり選手に負担がかかった。
- ・ 大会要項に不備があるにも関わらず、対戦チーム間においてユニホームの色を相談し選手に着替えをさせようとし、大会本部にその旨を伝えキックオフの時間を若干のばすよう依頼したが、「依頼する時間があたられば着替えろ」と言われ却下された。
- ・ 東三河予選の決勝戦において寒空にも関わらず選手は震えながらピッチで並んでいたが、大会本部から何ら理由も伝えらず、決勝戦の開始時刻を遅らされた。
- ・ 後日、上記事項を大会本部役員に事実確認を行ったが、何一つ納得のいく明確な説明をもらえなかった。逆に逆切れされた。
- ・ 県大会において酷暑の中、試合間のインターバルが短いのに連続して3試合をこなすチームもいた。

③ いきなり全国大会に出場した、東三河のチームがいた。

【理事会での意見】

4種委員会および本年度の東三河予選に参加したチーム代表者からも事情を聴取したところ、「このような大会運営では子どものためにならないと思われるので、協会として関与することはできないが、4種加盟チームへ大会案内の告知をすることと、同大会の参加希望についてはそれぞれ各チームの判断でありこれを妨げない。」と判断しました。

また、J C様から改善提案があれば、本件事案を考え直す可能性はあるということも理事会で確認したところです。

【結 論】

2019年10月30日の理事会に大会責任者である蒲郡J Cの伊藤様が来て、豊川サッカー協会の考える大会運営の問題点等を聞いて持ち帰って頂きました。現時点では改善点などの連絡がないため、豊川サッカー協会としては上記の理由からプレーヤーズファーストでないJCカップへの関与をしないこととなりました。

繰り返しとなりますが、JC様から大会参加の案内がありましたら、加盟チームにはアナウンスをさせていただくこととなりますが、参加・不参加および複数の参加希望の場合の参加方法等は別途ご協議いただくことになろうかと思えます。

また、本件事案に関してはJC担当者の伊藤様および（公財）愛知県サッカー協会東三河地区協会には伝達済みです。

【補 足】

現在、4種の各種大会には大会スポンサー様からのサポートを頂いております。サポートを頂いている大会の裏で別の大会の予選会を兼ねるということは、常識的に考えて否であると考えます。

よって、JCカップが魅力ある大会に変貌していき、豊川サッカー協会としても是非とも関与させて欲しいという段階になったとき、果たして同大会の予選を別枠で開催・実施できるのかと考えると、日程・予算を勘案すると非常に厳しい状況であるとも言えます。

いずれにしろ、豊川サッカー協会は今後も与えられた使命と選手の笑顔を大事に、事業を進めていきますので、加盟チームの皆様におかれましては、益々のご理解とお力添えを頂けますよう、重ねてお願いいたします。

以 上